

岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業整備運営事業者選定委員会
第5回 議事要旨

<概要>

開催日	令和7年7月16(水)
開催時間	午後2時00分から午後2時30分まで
開催場所	岩手沿岸南部クリーンセンター2階研修室(web併用)
委員長	平松福壽
委員	八鍬浩、齊藤貢(web)、晴山渉、安居清隆
事務局	岩手沿岸南部広域環境組合 平野事務局長、新沼事務局次長、藤井主幹 八千代エンジニアリング株式会社 4名
会議次第	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議題 (1) 選定委員会の課題及びスケジュールの確認 (2) 入札参加資格審査の結果 (3) 落札者の選定方法 4. その他 5. 閉会
配付資料	・資料1 事業者選定委員会の課題及びスケジュール ・資料2 入札参加資格審査の結果 ・資料3 落札者の選定方法

1. 開会

2. 委員長あいさつ

(委員長よりあいさつ)

3. 議題

(1) 選定委員会の課題及びスケジュールの確認

事務局 (資料1により説明)

委員 特になし

(2) 入札参加資格審査の結果

事務局 (資料2により説明)

委員 特になし

(3) 落札者の選定方法

事務局 (資料3により説明)

委員 プレゼンテーションでは、各委員が質問する箇所を把握するためにも、使用される資料を各委員に配付してほしい。

事務局 事務局で会社名などの記載がないか確認した上で配付する。

委員 仮採点で一度採点した後、本採点で改めて評価を補正できるシステムとなっているという理解でよいか。

事務局 仮採点では先入観なく評価していただき、再採点では事業者ヒアリングを受けて、評価を変更できる仕組みであるため、再採点までは主観で評価して頂く。

委員 採点結果は、どのレベルで公表されるか。

事務局 各委員における本採点の平均点を公表する。

委員長 仮採点、再採点、本採点の3段階での評価では、段階ごとに評価を変更する説明責任は各委員にあることを明確にする必要がある。

委員 本採点の評価は、他の委員と異なっていたとしても合議する必要はない認識でよいか。

事務局 ご認識のとおりである。

委員 価格要素審査では、金額の妥当性が判断できないが、どのようにすればよいか。

事務局 応札額が予定価格内に収まっているか、また金額に応じて算出される点数をご確認頂くものである。

委員長 事業者名は匿名で審査するが、委員名も同様に匿名であるか。

事務局 そうである。

委員 3段階の評価を公表するのではなく、本採点の平均点を公表することでよいか。

事務局 そうである。

委員 審査講評では、評価項目ごとに点数を提示するか、合計点のみを提示するか、い

ずれか。

事務局 審査講評では、評価項目ごとの点数を公表する予定である。

委員 各委員の専門性が違うため、合議はなかなか難しいと考えている。そのため、意見交換の場では、誰かが意見誘導するのではなく、勘違いしていた場合に訂正するという意味合いがよいと考える。

委員長 審査過程の情報公開請求があった場合には、どこまで公表するか。

事務局 採点表には、各委員の署名があり、これを公表するか否かである。一般的には公開しないと想定する。

委員長 対外的に出ていくものと同程度のものしか情報公開に応じない理解とする。

4. その他

事務局 次回第6回委員会は、半日スケジュールであるが、全員参加としたり、今後日程調整を行う。

5. 閉会